

平成 28 年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会

議事次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

(1) 議案第 1 号 平成 27 年度事業報告および決算報告、
会計監査報告について

(2) 議案第 2 号 平成 28 年度事業計画 (案) および
予算 (案) について

(3) 議案第 3 号 平成 28 (～29) 年度 くじゅう地区管理運営協議会
役員改選 (案) について

(4) 議案第 4 号 くじゅう地区管理運営協議会
規約改正 (案) について

4. その他

日 時：平成 28 年 5 月 31 日 (火) 16:30～18:00

場 所：九重星生ホテル

平成28年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会 出欠表

協議会規約第7条					役員会	総会	懇親会	備考	
役員	1	会長	九重町	町長	坂本 和昭	○	○	○	
	2	副会長	竹田市	市長	首藤 勝次	○	○	○	代理：(久住支所長) 荒巻英俊
	3	理事	阿蘇自然環境事務所	所長	森 一弘	○	○	欠	
	4	理事	大分県生活環境部	理事 兼 審議監	神 昭雄	○	○	○	代理：(大分県生活環境部自然保護推進室室長) 山崎吉明
	5	理事	九重・飯田高原観光協会	会長	武石 良一	○	○	○	
	6	理事	筋湯温泉観光協会	会長	吉谷 充浩	○	○	欠	
	7	理事	釜ノ口温泉観光協会	会長	清水 弘明	○	○	○	
	8	理事	久住高原観光協会	会長	神田 長徳	○	○	欠	
	9	監事	株式会社おおい観光サービス(オーベルジュ・コスモス)	取締役支配人	中野 豊文	○	○	○	
	10	監事	やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)	取締役	上田 恒久	○	○	○	
					10	10	7		

協議会規約第9条					役員会	総会	懇親会	備考	
幹事	11	幹事	くじゅう自然保護官事務所	自然保護官	中村 仁	○	○	○	
			くじゅう自然保護官事務所	自然保護官補佐	兒島 音衣	-	○	○	
	12	幹事	大分県 生活環境部 自然保護推進室	室長	山崎 吉明	-	(○)	(○)	兼 代理：大分県生活環境部 理事 兼 審議監
			大分県 生活環境部 自然保護推進室 自然保護班	主幹	浜田 みほ	-	○	○	
	13	幹事	九重町商工観光・自然環境課	課長	麻生 通教	-	○	○	
	14	幹事	竹田市久住支所 地域振興課	課長	清水 禎治	-	○	○	
	15	幹事	九重・飯田高原観光協会	副会長	渡邊 秀雄	-	○	○	
	16	幹事	有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	代表取締役	弘藏 岳久	-	○	○	
	17	幹事	株式会社おおい観光サービス	代表取締役	奥村 伸幸	-	欠	欠	
	18	幹事	九重の自然を守る会	理事長	渡辺 裕雄	-	○	○	
	19	幹事	九重森林公園株式会社	取締役支配人	高橋 裕二郎	-	○	○	
	20	幹事	有限会社牧の戸峠レストハウス(牧ノ戸売店)	支配人	古賀 透	-	○	○	
21	幹事	有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	常務取締役	安部 智子	-	○	○		
22	幹事	一般財団法人セブン・イレブン記念財団(九重ふるさと自然学校)	代表	川野 智美	-	○	○		
					1	12	12		

					役員会	総会	懇親会	備考
23		大分森林管理署	署長	川畑 宏二	-	○	欠	
24		大分西部森林管理署	署長	秋山 郁男	-	○	欠	
25		株式会社まきのとコーポレーション(九重観光ホテル)	代表取締役社長	小池 由明	-	欠	欠	
26		飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター)	代表取締役	原口 嘉哲	-	○	○	代理：(取締役) 原口 智成
27		有限会社 みやま商店	代表取締役	熊谷 清	-	○	○	
28		寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	社長	武石 良一	-	(○)	(○)	兼 九重・飯田高原観光協会会長
29		学校法人福岡大学	副学長	中川 誠士	-	欠	欠	
			法人事業部長	森 美智雄	-	○	○	
30		株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	支配人	森山 信行	-	欠	欠	
31		株式会社エル・ランチョ・グランデ	代表取締役	瀬戸 富美	-	欠	欠	
32		九重町飯田農業協同組合(飯田高原ドライブイン)	観光経済課長	佐藤 祐記	-	○	欠	
33		有限会社くじゅう倶楽部(くじゅう倶楽部)		佐藤 克聡	-	欠	欠	
34		九重ヒュッテ	支配人	山口 幸三	-	欠	欠	
35		大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家	所長	丸尾 研治	-	○	欠	
36		飯田高原デザイン会議	議長	高橋 裕二郎	-	(○)	(○)	兼 九重森林公園株式会社支配人
37		特定非営利活動法人久住高原みちくさ案内倶楽部	理事長	上好 温	-	○	欠	
38		株式会社橋本建設	代表取締役会長	渡邊 始枝	-	○	○	
39		株式会社ア・マ・ファソン(オーベルジュ ア・マ・ファソン)	社長	小幡 洋二	-	欠	欠	
40		株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	総支配人	伊藤 靖兼	-	欠	欠	
41		有限会社吉武建設	代表取締役	吉武 勝広	-	欠	欠	
42		特定非営利活動法人くじゅうネイチャーガイドクラブ	代表	増田 啓次	-	○	○	
					10	5		

協議会規約第11条					役員会	総会	懇親会	備考
事務局	事務局長	九重の自然を守る会	事務局長	小山 正記	○	○	○	
	事務局	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループリーダー	竹尾 孝一	○	○	○	
	事務局員	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループ主任	日隈 慶子	-	○	○	
	主任事務局員	長者原ビジターセンター	センター長	種村 英大	○	○	○	
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	村松 優子	-	○	○	
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	鳥越 遥	-	○	○	
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	山下 由貴子	-	○	○	
					3	7	7	

役員会計	総会計	懇親会計
14	39	31

平成28年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会席次表

会場：九重厚生ホテル

長者原ビジターセンター センター長 種村 英大	九重町 商工観光・自然環境課 自然環境グループ リーダー 竹尾 孝一	九重の自然を守る会 事務局長 小山 正記	九重町 商工観光・自然環境課 自然環境グループ 主任 日隈 慶子	長者原 ビジターセンター 自然解説員 村松 優子	長者原 ビジターセンター 自然解説員 鳥越 遥	長者原 ビジターセンター 自然解説員 山下 由貴子
【事務局】		【事務局長】	【事務局】			

九重町 町長 坂本 和昭 様

【会長】

竹田市 市長 (代理:竹田市久住支所 支所長) 荒巻 英俊 様	九重・飯田高原観光協会 会長 寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館) 社長 武石 良一 様	笠ノ口泉観光協会 会長 清水 弘明 様	株式会社おおい観光サービス (オーベルジュ・コスモス 取締役支配人) 中野 豊文 様	やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ) 取締役 上田 恒久 様	大分森林管理署 署長 川畑 宏二 様	大分西部森林管理署 署長 秋山 郁男 様	大分県 生活環境部 自然保護推進室 室長 山崎 吉明 様	大分県 生活環境部 自然保護推進室 自然保護班 主幹 浜田 みほ 様	九重・飯田高原観光協会 副会長 渡邊 秀雄 様	有限会社牧の戸峠レストハウス (牧ノ戸売店) 支配人 古賀 透 様	有限会社みやま商店 代表取締役 熊谷 清 様	学校法人福岡大学 法人事業部長 森 美智雄 様	大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家 所長 丸尾 研治 様	特定非営利活動法人 久住高原みちくさ案内人倶楽部 理事長 上好 温 様	特定非営利活動法人 くじゅうネイチャーガイドクラブ 代表 増田 啓次 様	環境省 阿蘇自然環境事務所 所長 森 一弘 様	筋湯温泉観光協会 会長 吉谷 充浩 様	久住高原観光協会 会長 神田 長徳 様	環境省 くじゅう自然保護官事務所 自然保護官 中村 仁 様	環境省 くじゅう自然保護官事務所 自然保護官補佐 兒島 音衣 様	九重町役場 商工観光・自然環境課 課長 麻生 通教 様	竹田市久住支所 地域振興課 課長 清水 禎治 様	九重の自然を守る会 理事長 渡辺 格雄 様	九重森林公園株式会社 取締役支配人 飯田高原デザイン会議 議長 高橋 裕次郎 様	有限会社法華院温泉 (法華院温泉山荘) 代表取締役 弘藏 岳久 様	有限会社星生温泉 (九重厚生ホテル) 常務取締役 安部 智子 様	一般財団法人セブン・イレブン記念財団 九重ふるさと自然学校 代表 川野 智美 様	飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター) 代表取締役 (代理:取締役) 原口 智成 様	九重町飯田農業協同組合 (飯田高原ドライブイン) 観光経済課長 佐藤 祐記	株式会社橋本建設 代表取締役会長 渡邊 始枝 様
---------------------------------------	--	---------------------------	--	---	--------------------------	----------------------------	------------------------------------	--	-------------------------------	---	------------------------------	-------------------------------	---	---	--	-------------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--	---	--	--	---	---	--------------------------------

(議案第1号)

平成27年度事業報告【平成27年度活動報告冊子参照】

1. 長者原ビジターセンター等の施設の管理運営

(1) ビジターセンター(タデ原木道を含む)、公衆トイレ等の管理運営を環境省から受託し、正規職員4名を雇用して施設等の適切な維持管理を行うとともに、公園案内の国際化に努めた(特に英語対応)。また、ハイビジョン映像が多言語上映可能であること等を、センター職員が直接外国人利用者に対して、積極的に働きかけ、外国人利用者が増加した。5~10月の繁忙期には、開館時間を17時まで延長(通常16時)し、利用者サービスの充実を図った。

(2) 毎年3月末に実施されるタデ原の野焼きに備え、タデ原の木道が延焼しないよう、野焼きの実施前に防火線切りを行った。

(3) 公衆トイレ清掃は、職員による通常清掃に加え、繁忙期には清掃ボランティアの協力(週4回程度、年間180日)を得て、トイレを清潔に保てるよう管理した。

(4) 長者原園地およびその周辺の景観の維持管理については、管理者である環境省による維持管理を補助する形で、草木の刈り払いや枝打ち、植栽木の剪定、芝刈り等を適宜行った。

2. 国立公園利用者への情報提供等

(1) ビジターセンターで、利用案内及び各種情報を提供した。【利用者数:133,069人(前年比約3%増)】

(2) ビジターセンターで、くじゅうの自然を紹介した手作りの展示や、実物に触れることのできるハンズオン展示の制作・更新を随時行った。

(3) 「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」がラムサール条約に登録されて10周年の記念の年を迎えたことから、8月~9月にラムサール条約湿地に関する企画展を実施した。クイズシートを設置して、受付カウンターで答え合わせを行うなどの体験型展示を行った。(利用者数:252人)この他にも合わせて年4回の企画展を実施した。

(4) 英語での利用案内・解説ができる者を、週3日以上配置し、利用案内や展示の国際化に努めた。

(5) 九重の自然を守る会、環境省パークボランティアの協力により、土・日曜・祝日等、利用者が多い時期に、タデ原湿原木道を利用して、自然観察会(2時間)を実施した。【開催数57回、参加者数723人】

(6) 毎日、午前と午後に、職員による、タデ原のミニガイドウォーク(30分間)を実施した。【開催数45回、参加者数119人】

(7) 職員によるタデ原のミニレクチャーを、随時実施した。【開催数9回、参加者数639人】

(8) 職員による自治体および学生の視察研修などの受け入れを、随時実施した。【開催数13回、参加者数52人】

(9) ビジターセンターで、毎月第4日曜日を中心に、くじゅうの自然に関わる人達を講師に、くじゅうの自然の魅力について学ぶ、公開講座「サロン・de・くじゅう」を開催した。【開催数6回、参加者数96人】

(10) 「トイレ de 写真館」を継続し、公共空間を活かしながら、くじゅうの魅力発信を行った。

(11) ビジターセンターの情報提供誌「長者原だより」を春・夏・秋・冬の計4号発行し、会員および関係各所に配布した。また、タデ原の自然情報を、随時、協議会会員や利用者へ提供した。

(12) タデ原のパンフレット(九重町作成)の英語版/韓国語版の制作・配布を行った。

(13) ビジターセンターカウンターで、利用者へ物品の販売を行った。また、くじゅう地域の自然を紹介する、オリジナルポケット図鑑などのオリジナル商品の制作を行った。

(14) インターネットのブログやフェイスブックを活用して、くじゅう地域の最新の自然情報を配信した。フェイスブックにおいては、海外の利用者への情報提供として、英語併記を行った。

3.くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動

(1) 九重の自然を守る会等と連携しながら、くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動を、随時行った。

(2) 牧ノ戸峠駐車場および登山口周辺において、ごみの状況確認及びごみ収集を随時行った。

(3) 自然公園クリーン作戦等に協力し、美化意識の普及啓発を行った。

(4) 飯田高原野焼き実行委員会に協力し、タデ原の防火帯づくりおよび野焼きを実施した。

(5) くじゅう地区高山植物保護対策協議会に協力し、高山植物保護パトロールを実施した。

(6) 環境省・日本自然保護協会の「モニタリングサイト1000里地調査」として、タデ原湿原周辺の植物相について、九重の自然を守る会と連携しながらモニタリング調査を行った。

4. 地域での環境教育活動

(1) 地元子どもたちに対し、くじゅう地域の自然環境保全活動を推進するため、タデ原に関する学習・普及啓発活動を行う団体「チームタデ原」(飯田小4~6年生加入)の活動を実施した。

(2) 九重町の小学校に、タデ原等の環境学習を行う出前授業を、随時行った。

(3) 飯田公民館及び飯田地区青少年健全育成協議会主催の「飯田高原お宝探検隊」の活動実施に、運営委員として協力した。

5. 登山道等の保全・維持管理作業

(1) 関係各所と協力して、随時登山道等の保全作業を行った。(11月には玖珠美山高校と、坊原登山道を整備)

(2) 登山道の老朽化している道標について、新たに3基(赤川・久住山分岐、中岳・天狗ヶ城分岐、三俣山本峰・南峰分岐)を制作し、交換補修を行った。

6. 利用者への適正な指導

(1) 国立公園のマナー啓発や登山利用等について、随時、利用者へ適正な利用指導を行った。

(2) ゴールデンウィークやミヤマキリシマ、紅葉の繁忙期に、くじゅう連山最大の登山口である牧の戸峠登山口にて、登山マナーや登山届の提出を呼びかける、登山ミニレクチャーを実施し、登山者に対するマナーの普及啓発活動を行った。【平成27年度：開催数4回】

(3) くじゅう地区管理運営協議会で制作した、公園利用のためのマナーチラシの配布(日本語・韓国語・英語版)を行った。

7. その他業務

(1) ビジターセンターの管理運営の向上を目的として、先進地等へ職員を派遣し、視察研修を行った。

(2) 全国草原再生ネットワークや、西日本自然史系博物館ネットワークに加盟し、協議会会員に随時情報提供を行った。

(3) 「くじゅう坊ガツルタデ原湿原」が、ラムサール条約に登録されてから、10周年の記念の年を迎えることから、全国のラムサール条約登録湿地の子どもたちが集まり、湿地保全に関する経験や知識の交換・交流を深める、「*KODOMO ラムサール〈くじゅう坊ガツル・タデ原湿原〉(7月18日(土)~20日(月・祝))を開催した。

(4) 2016年から始まる国民の祝日「山の日」(8月11日)に先立ち、九重町で行われた「山の日」制定プレイベント全国大会で、くじゅう地域に関する自然を紹介するブース展示に協力した。

(5) 九重町の生物多様性保全対策協議会に委員として参加し、九重町生物多様性戦略づくりに参画した。

平成27年度 収支決算書

(収入の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金	1,966,022	1,966,022	0	
前年度繰越金(職員3ヶ月分)	3,200,000	3,200,000	0	3か月分運営管理費
負担金	2,310,000	2,310,000	0	
賛助会費	50,000	50,000	0	
VC管理業務	14,580,000	14,580,000	0	環境省12ヵ月分
長者原園地・トイレ清掃管理受託	966,600	966,600	0	
雑収入	17,378	19,799	2,421	ガイドウォーク参加料、利息
物品販売費	600,000	1,123,652	523,652	
収入合計	23,690,000	24,216,073	526,073	

(支出の部)

項	目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
会議費		200,000	162,348	37,652	総会等
管理費	人件費	13,250,000	12,606,812	643,188	管理人件費×4(国際化1名)、社会保険料
	研修交通費	400,000	355,185	44,815	業務交通費、研修(自然観察指導員研修、九州環境市民フォーラム等)
	VC等施設管理費	820,000	781,904	38,096	カラーコピー機、清掃等の外注
	水道光熱費	50,000	36,000	14,000	水道組合負担金
	通信運搬費	300,000	206,021	93,979	電話・インターネット
	消耗品費	780,000	432,987	347,013	トイレ用品、事務用品等
	備品費	400,000	161,222	238,778	金庫、傘立て、スタンド看板、ベビーカー等
	修繕費	80,000	51,706	28,294	芝刈り機、カメラ・パソコン修理
	情報費	150,000	144,197	5,803	図書購入等
		計	16,230,000	14,776,034	1,453,966
事業費	販売物品仕入費	1,000,000	969,084	30,916	物品の仕入れ、オリジナルグッズ制作
	自然環境保全費	220,000	146,971	73,029	野焼き活動、クリーン作戦、外来種等
	利用者サービス	1,230,000	1,151,658	78,342	観察会、清掃ボランティア、パンフレット多言語化等
	登山道等保全作業費	630,000	508,816	121,184	道標×3基、土嚢袋等
		計	3,080,000	2,776,529	303,471
特別会計繰出金		280,000	280,000	0	KODOMOラムサール
予備費		3,900,000	0	3,900,000	
合計		23,690,000	17,994,911	5,695,089	

翌年度繰越金

24,216,073－17,994,911＝ 6,221,162 円

* 500万円については、新年度当初、負担金や環境省からの管理受託金の入金がないため、約4ヶ月分のビジターセンター等運営管理費に充当する。

平成27年度 負担金収入内訳

(単位:円)

負担者	本年度予算額	本年度決算額	比較増	摘要
大分県	185,000	185,000	0	
九重町	1,000,000	1,000,000	0	
竹田市	100,000	100,000	0	
九重・飯田高原観光協会	150,000	150,000	0	
筋湯温泉観光協会	100,000	100,000	0	
釜ノ口温泉観光協会	30,000	30,000	0	
久住高原観光協会	50,000	50,000	0	
飯田高原観光株式会社 (長者原ヘルスセンター)	45,000	45,000	0	
株式会社おおいた観光サービス (オーベルジュ・コスモス)	45,000	45,000	0	
やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ)	45,000	45,000	0	
有限会社みやま商店 (ドライブステイ みやま)	25,000	25,000	0	
寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	10,000	10,000	0	
有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	30,000	30,000	0	
学校法人福岡大学	200,000	200,000	0	
株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	20,000	20,000	0	
株式会社まきのとコーポレーション (九重観光ホテル)	10,000	10,000	0	
九重ヒュッテ	10,000	10,000	0	
株式会社エル・ランチョ・グランデ	10,000	10,000	0	
有限会社牧の戸峠レストハウス (牧ノ戸峠売店)	20,000	20,000	0	
九重町飯田農業共同組合 (飯田高原ドライブイン)	20,000	20,000	0	
有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	30,000	30,000	0	
有限会社くじゅう倶楽部	20,000	20,000	0	
九重森林公園株式会社	30,000	30,000	0	
株式会社橋本建設	25,000	25,000	0	
株式会社ア・マ・ファソン (オーベルジュ ア・マ・ファソン)	20,000	20,000	0	
株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	20,000	20,000	0	
飯田高原デザイン会議	10,000	10,000	0	
NPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	10,000	10,000	0	
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 (九重ふるさと自然学校)	10,000	10,000	0	
有限会社吉武建設 (くじゅうやまなみキャンプ村)	20,000	20,000	0	
くじゅうネイチャーガイドクラブ	10,000	10,000	0	
負担金計	2,310,000	2,310,000	0	

平成27年度 賛助会費収入内訳

(単位:円)

負担者	本年度予算額	本年度決算額	比較増	摘要
九州横断観光株式会社 (朝日台レストハウス)	10,000	10,000	0	
九州電力株式会社 (八丁原発電所)	10,000	10,000	0	
九州林産株式会社 (湯布院事務所)	10,000	10,000	0	
福岡県中学校体育連盟	10,000	10,000	0	
福岡県高等学校体育連盟	10,000	10,000	0	
負担金計	50,000	50,000	0	

特別会計
平成27年度 KODOMOラムサール 収支決算

(単位:円)

(収入の部)

項目		予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金		320,000	320,000	0	
一般会計繰入金		280,000	280,000	0	
KODOMOラム サール負担金	九重町	500,000	500,000	0	
	竹田市	520,000	520,000	0	
経団連助成金		750,000	750,000	0	
参加者負担金		191,000	191,950	950	参加者キャンセル等
雑収入		0	113	113	利息等
収入合計		2,561,000	2,562,063	1,063	

(支出の部)

項	目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
事業費	謝金	260,000	259,296	704	講師謝金
	旅費	1,125,000	787,341	337,659	
	食費・宿泊費	607,000	510,760	96,240	
	消耗品費	100,000	79,024	20,976	イーゼル、ポスター額縁
	通信運搬費	5,000	2,462	2,538	
	印刷・製本費	350,000	327,162	22,838	報告書印刷代等
	使用料及び賃賃料	65,000	60,324	4,676	
	雑費	40,000	6,608	33,392	
		計	2,552,000	2,032,977	519,023
予備費		9,000	0	9,000	
支出合計		2,561,000	2,032,977	528,023	

翌年度繰越金

$$2,562,063 - 2,032,977 = 529,086 \text{ 円}$$

会計監査報告

規約第8条の規定により、平成27年度の会務並びに会計を監査した結果、証拠書類及び帳簿等の内容は、適正に処理されていることを認めます。

平成28年 7月 9日

くじゅう地区管理運営協議会
監事 株式会社おおいた観光サービス
オーベルジュ・コスモス
中野豊文 (中野)

監事 やまなみ観光株式会社
レストハウスやまなみ

上田 恒久 (上田)

1. 長者原ビジターセンター等運営管理業務

(1) 長者原ビジターセンター等(タデ原木道を含む)の管理運営を環境省から受託し、正規職員4名を雇用して施設等の適切な維持管理を行うとともに、公園案内の国際化に努める(特に英語対応)。また、5~10月の繁忙期には、開館時間を17時まで延長(通常16時)し、利用者サービスの充実を図る。(環境省仕様書1)

- ①ビジターセンターで、利用案内及び各種情報を提供する。
- ②ビジターセンターで、くじゅうの自然を紹介した手作りの展示や、実物に触れることのできるハンズオン展示の制作・更新を随時行う。
- ③英語で利用案内・解説ができる者を、週3日以上配置し、利用案内と展示の国際化に努める。
- ④九重の自然を守る会、環境省パークボランティアの協力により、土・日曜・祝日等、利用者が多い時期に、タデ原湿原木道を利用して、自然観察会を実施する。
- ⑤職員によるタデ原のミニレクチャー等を、随時実施する。
- ⑥職員による自治体および学生の視察研修などの受け入れを、随時実施する。
- ⑦ビジターセンター等で、くじゅうの自然に関わる人達を講師に、くじゅうの自然の魅力について学ぶ講演会等を実施し、幅広い世代の利用者に、くじゅうの魅力や課題を伝えるとともに、楽しさを提供できるようサービスの充実を図る。
- ⑧ビジターセンターカウンターで、利用者へ物品の販売を行う。

(2) 毎年3月末に実施されるタデ原の野焼きに備え、タデ原の木道が延焼しないよう、野焼きの実施前に防火線切りを行う。

2. その他施設管理

(1) 公衆トイレ等の管理運営を環境省から受託し、職員による通常清掃に加え、繁忙期には清掃ボランティアの協力(週4回程度、年間180日)を得て、トイレを清潔に保てるよう管理する。(環境省仕様書2)

(2) 長者原園地およびその周辺の景観の維持管理については、管理者である環境省による維持管理を補助する形で、草木の刈り払いや枝打ち、植栽木の剪定、芝刈り等を適宜行う。

(3) 牧ノ戸峠駐車場および登山口周辺において、ごみの状況確認及びごみ収集を適時行う。

3. 教育・普及啓発活動

(1) タデ原に関する学習活動を行う、「チームタデ原」(飯田小4~6年生加入)の活動を実施し、子どもたちを、北海道浜頓別町で開催される「KODOMO ラムサール」に派遣する。

(2) 九重町・竹田市の小・中学校の総合学習における、タデ原をはじめとする環境学習の支援活動を行う。

(3) 飯田公民館及び飯田地区青少年健全育成協議会主催の「飯田高原お宝探検隊」の活動に、運営委員として協力する。

(4) 「トイレ de 写真館」を継続し、公共空間を活かしながら、くじゅうの魅力発信を行う。

(5) ゴールデンウィークやミヤマキリシマ、紅葉の繁忙期に、くじゅう連山最大の登山口である牧の戸峠登山口にて、登山マナーや登山届の提出を呼びかける、登山ミニレクチャーを実施し、登山者に対するマナーの普及啓発活動を行う。

(6) くじゅう地区管理運営協議会で制作した、多言語化した公園利用のためのマナーチラシや、タデ原のパンフレットの配布(日本語・韓国語・英語版)を行う。

(7) ビジターセンターの情報提供誌「長者原だより」を春・夏・秋・冬の計4号発行し、会員および関係各所で配布する。また、タデ原の自然情報を、随時、会員や利用者に提供する。

(8) インターネットのブログやフェイスブックを活用して、くじゅう地域の最新の自然情報を配信する。フェイスブックにおいては、海外の利用者への情報提供として、英語併記を行う。

(9) 全国草原再生ネットワークや、西日本自然史系博物館ネットワークに加盟し、くじゅう地域のPR活動を行うとともに、会員に随時情報提供を行う。

4. 自然環境保全・調査活動

(1) 九重の自然を守る会等と連携しながら、くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動を随時行う。(外来種駆除活動等)

(2) 自然公園クリーン作戦等に協力し、美化意識の普及啓発を行う。

(3) 飯田高原野焼き実行委員会に協力し、タデ原の防火帯づくりおよび野焼きを実施する。

(4) 環境省・日本自然保護協会の「モニタリングサイト1000里地調査」として、タデ原湿原周辺の植物相について、九重の自然を守る会と連携しながらモニタリング調査を行う。

(5) 環境省グリーンワーカー事業で、オオハンゴンソウの生態分布調査を行う。(環境省仕様書3)

(6) 九重町の生物多様性保全対策協議会に委員として参加し、九重町生物多様性戦略づくりに参画する。

5. 登山道等の保全・維持管理作業

(1) 関係各所と協力して、随時登山道等の保全・維持管理作業を行う。

(2) 登山道の老朽化している道標については、新たに制作し、交換作業を行う。

6. その他

(1) くじゅう地区管理運営協議会において、新たな賛助会員制度及び寄付制度を創設する。(別紙1～3)

(2) ビジターセンターの管理運営の向上を目的として、先進地等へ職員を派遣し、視察研修を行う。

(3) くじゅう地区管理運営協議会のホームページを立上げ、協議会や協議会会員による、くじゅう地域における、教育・普及啓発活動や、自然環境保全活動等をPRするとともに、新たな賛助会員及び寄付を募る。

平成28年度 予算(案)

(収入の部)

項目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金	1,221,162	1,966,022	▲ 744,860	
前年度繰越金(運営管理4ヶ月分)	5,000,000	3,200,000	1,800,000	4～7月分運営管理費等
会費(旧 負担金・賛助会費)	2,290,000	2,310,000	▲ 20,000	正会員 会費収入内訳(案)参照
	50,000	50,000	0	賛助会員 会費収入内訳(案)参照
寄付金	1,000	0	1,000	
ビジターセンター管理業務 (旧 VC管理受託)	14,688,000	14,580,000	108,000	※ 環境省国立公園バリューアップ事業等
長者原園地・トイレ清掃管理受託	972,000	966,600	5,400	環境省事業
環境省グリーンワーカー事業	968,220	0	968,220	環境省事業
雑収入	19,618	17,378	2,240	預金利子、イベント参加料等
物品販売費	1,000,000	600,000	400,000	
収入合計	26,210,000	23,690,000	2,520,000	

(支出の部)

項	目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
	会議費	200,000	200,000	0	総会等
管理費	人件費	13,450,000	13,250,000	200,000	
	基本給	8,582,400	8,582,400	0	正規職員×4
	各種手当	1,990,320	2,207,520	▲ 217,200	厚生年金、健康保険、雇用保険等
	社会保険	1,492,296	1,463,388	28,908	
	その他	1,384,984	996,692	388,292	臨時職員等
	研修交通費	400,000	400,000	0	職員研修、自然情報収集交通費等
	VC等管理費 (旧 VC等施設管理費)	800,000	820,000	▲ 20,000	コピー機リース、特別清掃等
	租税公課費	830,000	0	830,000	消費税、印紙代等
	水道光熱費	200,000	50,000	150,000	水道組合負担金、灯油代
	通信運搬費	350,000	300,000	50,000	協議会通知等・電話・インターネット等
	消耗品費	580,000	780,000	▲ 200,000	トイレトーパー、清掃用品、展示用パネル等
	備品費	200,000	400,000	▲ 200,000	GPS付デジタルカメラ等
	修繕費	100,000	80,000	20,000	芝刈り機修繕等
	情報費	150,000	150,000	0	新聞、図書等
	計	17,060,000	16,230,000	830,000	
事業費	販売物品仕入費	900,000	1,000,000	▲ 100,000	登山マップ、クリアファイル、販売図書等
	教育・普及啓発活動費 (旧 利用者サービス費)	900,000	1,230,000	▲ 330,000	観察会、VCイベント、協議会HP作成費等
	自然環境保全・調査活動費 (旧 自然環境保全費 および 利用者サービス費)	1,000,000	220,000	780,000	各団体活動支援費、野焼き活動、クリーン作戦、外来種駆除等
	登山道等管理費 (旧 登山道等保全作業費)	1,000,000	630,000	370,000	トイレ清掃ボランティア、杭、ロープ、道標製作等
	計	3,800,000	3,080,000	720,000	
	特別会計繰出金	150,000	280,000	▲ 130,000	KODOMOラムサール
	予備費	5,000,000	3,900,000	1,100,000	次年度4～7月分運営管理費等
	合計	26,210,000	23,690,000	2,520,000	

※ 平成26年度から5年間の時限的に、環境省からのビジターセンター管理業務費が増額。

平成28年度 正会員会費 収入内訳(案)

(単位:円)

負担者	本年度予算額	前年度予算額	比較増	摘要
大分県	185,000	185,000	0	
九重町	1,000,000	1,000,000	0	
竹田市	100,000	100,000	0	
九重・飯田高原観光協会	150,000	150,000	0	
筋湯温泉観光協会	100,000	100,000	0	
筥ノ口温泉観光協会	30,000	30,000	0	
久住高原観光協会	50,000	50,000	0	
飯田高原観光株式会社 (長者原ヘルスセンター)	45,000	45,000	0	
株式会社おおい観光サービス (オーベルジュ・コスモス)	45,000	45,000	0	
やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ)	45,000	45,000	0	
有限会社みやま商店 (ドライブステイ みやま)	25,000	25,000	0	
寒の地獄株式会社 (寒の地獄旅館)	10,000	10,000	0	
有限会社星生温泉 (九重星生ホテル)	30,000	30,000	0	
学校法人福岡大学	200,000	200,000	0	
株式会社セイビ九州 (ホテルやまなみ荘)	0	20,000	▲ 20,000	
株式会社まきのとコーポレーション (九重観光ホテル)	10,000	10,000	0	
九重ヒュッテ	10,000	10,000	0	
株式会社エル・ランチョ・グランデ	10,000	10,000	0	
有限会社牧の戸峠レストハウス (牧ノ戸峠売店)	20,000	20,000	0	
九重町飯田農業共同組合 (飯田高原ドライブイン)	20,000	20,000	0	
有限会社法華院温泉 (法華院温泉山荘)	30,000	30,000	0	
有限会社くじゅう倶楽部	20,000	20,000	0	
九重森林公園株式会社	30,000	30,000	0	
株式会社橋本建設	25,000	25,000	0	
株式会社ア・マ・ファソン (オーベルジュ ア・マ・ファソン)	20,000	20,000	0	
株式会社星野リゾート (界 阿蘇)	20,000	20,000	0	
飯田高原デザイン会議	10,000	10,000	0	
特定非営利活動法人 久住高原みちくさ案内人倶楽部	10,000	10,000	0	
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 (九重ふるさと自然学校)	10,000	10,000	0	
有限会社吉武建設 (くじゅうやまなみキャンプ村)	20,000	20,000	0	
特定非営利活動法人 くじゅうネイチャーガイドクラブ	10,000	10,000	0	
負担金計	2,290,000	2,310,000	▲ 20,000	

平成28年度 賛助会員会費 収入内訳(案)

(単位:円)

負担者	本年度予算額	前年度予算額	比較増	摘要
九州横断観光株式会社 (朝日台レストハウス)	10,000	10,000	0	
九州電力株式会社 (八丁原発電所)	10,000	10,000	0	
九州林産株式会社 (湯布院事務所)	10,000	10,000	0	
福岡県中学校体育連盟	10,000	10,000	0	
福岡県高等学校体育連盟	10,000	10,000	0	
負担金計	50,000	50,000	0	

特別会計
平成28年度 KODOMOラムサール 予算(案)

(単位:円)

(収入の部)

項目		本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金		529,086	320,000	209,086	
一般会計繰入金		150,000	280,000	▲ 130,000	
KODOMO ラムサール 負担金	九重町	100,000	500,000	▲ 400,000	
	竹田市	0	520,000	▲ 520,000	
経団連助成金		0	750,000	▲ 750,000	
参加者負担金		0	191,950	▲ 191,950	
雑収入		914	0	914	利息等
収入合計		780,000	2,561,950	▲ 1,781,950	

(支出の部)

項	目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
事業費	謝金	12,000	260,000	▲ 248,000	講師謝金
	旅費	300,000	1,125,000	▲ 825,000	KODOMORAMサール参加費(スタッフ1・子ども2)、講師旅費等
	食費・宿泊費	60,000	607,000	▲ 547,000	KODOMORAMサール宿泊費、講師宿泊費、弁当等
	消耗品費	58,000	100,000	▲ 42,000	活動報告展示用品等
	通信運搬費	5,000	5,000	0	
	印刷・製本費	25,000	350,000	▲ 325,000	報告書印刷代等(PTA・小学校配布分)
	使用料及び賃貸料	10,000	65,000	▲ 55,000	会場借用等
	雑費	10,000	40,000	▲ 30,000	活動保険料等
	計	480,000	2,552,000	▲ 2,072,000	
予備費		300,000	9,000	291,000	次年度活動費
支出合計		780,000	2,561,000	▲ 1,781,000	

※来年度以降、九重町の負担金以外の収入がないため、予備費を確保。

(議案第3号)

平成28(～29)年度 くじゅう地区管理運営協議会役員改選(案)について

協議会規約第7条

役員	構成員	氏名
会長	九重町	町長 坂本 和昭
副会長	竹田市	市長 首藤 勝次
理事	阿蘇自然環境事務所	所長 森 一弘
理事	大分県 生活環境部	理事兼審議監 神 昭雄
理事	九重・飯田高原観光協会	会長 武石 良一
理事	筋湯温泉観光協会	会長 吉谷 充浩
理事	釜ノ口温泉観光協会	会長 清水 弘明
理事	久住高原観光協会	会長 神田 長徳
監事	株式会社おおいた観光サービス(オーベルジュ・コスモス)	取締役支配人 中野 豊文
監事	やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)	取締役 上田 恒久

協議会規約第9条

役職	構成員	氏名
幹事	くじゅう自然保護官事務所	自然保護官 中村 仁
幹事	大分県 生活環境部 自然保護推進室	室長 山崎 吉明
幹事	九重町 商工観光・自然環境課	課長 麻生 通教
幹事	竹田市久住支所 地域振興課	課長 清水 禎治
幹事	九重・飯田高原観光協会	副会長 渡邊 秀雄
幹事	有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	代表取締役 弘蔵 岳久
幹事	株式会社おおいた観光サービス	代表取締役 奥村 伸幸
幹事	九重の自然を守る会	理事長 渡辺 格雄
幹事	九重森林公園株式会社	取締役支配人 高橋 裕二郎
幹事	有限会社牧の戸峠レストハウス(牧ノ戸売店)	支配人 古賀 透
幹事	有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	常務取締役 安部 智子
幹事	一般財団法人セブン・イレブン記念財団(九重ふるさと自然学校)	代表 川野 智美

協議会規約第11条

役職	構成員	氏名
事務局長	長者原ビジターセンター	センター長 種村 英大
事務局	長者原ビジターセンター	自然解説員 村松 優子
	長者原ビジターセンター	自然解説員 鳥越 遥
	長者原ビジターセンター	自然解説員 山下 由貴子
	九重町 商工観光・自然環境課 自然環境グループ	リーダー 竹尾 孝一
	九重町 商工観光・自然環境課 自然環境グループ	主任 日隈 慶子

●くじゅう地区管理運営協議会 構成員 *4/1時点

協議会規約第7条

1	役員	会長	九重町	町長	坂本 和昭
2		副会長	竹田市	市長	首藤 勝次
3		理事	阿蘇自然環境事務所	所長	森 一弘
4		理事	大分県 生活環境部	理事兼審議監	神 昭雄
5		理事	九重・飯田高原観光協会	会長	武石 良一
6		理事	筋湯温泉観光協会	会長	吉谷 充浩
7		理事	釜ノ口温泉観光協会	会長	清水 弘明
8		理事	久住高原観光協会	会長	神田 長徳
9		監事	株式会社おおいた観光サービス(オーベルジュ・コスモス)	取締役支配人	中野 豊文
10		監事	やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)	取締役	上田 恒久

協議会規約第9条

11	幹事	幹事	くじゅう自然保護官事務所	自然保護官	中村 仁
12		幹事	大分県 生活環境部 自然保護推進室	室長	山崎 吉明
13		幹事	九重町商工観光・自然環境課	課長	麻生 通教
14		幹事	竹田市久住支所 地域振興課	課長	清水 禎治
15		幹事	九重・飯田高原観光協会	副会長	渡邊 秀雄
16		幹事	有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	代表取締役	弘蔵 岳久
17		幹事	株式会社おおいた観光サービス	代表取締役	奥村 伸幸
18		幹事	九重の自然を守る会	理事長	渡辺 裕雄
19		幹事	九重森林公園株式会社	取締役支配人	高橋 裕二郎
20		幹事	有限会社牧の戸峠レストハウス(牧ノ戸売店)	支配人	古賀 透
21		幹事	有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	常務取締役	安部 智子
22	幹事	一般財団法人セブン・イレブン記念財団(九重ふるさと自然学校)	代表	川野 智美	

23	大分森林管理署	署長	川畑 宏二
24	大分西部森林管理署	署長	秋山 郁男
25	株式会社まきのとコーポレーション(九重観光ホテル)	代表取締役社長	小池 由明
26	飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター)	代表取締役	原口 嘉哲
27	有限会社 みやま商店	代表取締役	熊谷 清
28	寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	社長	武石 良一
29	学校法人福岡大学	副学長	中川 誠士
		法人事業部長	森 美智雄
30	株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	支配人	森山 信行
31	株式会社エル・ランチョ・グランデ	代表取締役	瀬戸 富美
32	九重町飯田農業協同組合(飯田高原ドライブイン)	観光経済課長	佐藤 祐記
33	有限会社くじゅう倶楽部(くじゅう倶楽部)		佐藤 克聡
34	九重ヒュッテ	支配人	山口 幸三
35	大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家	所長	丸尾 研治
36	飯田高原デザイン会議	議長	高橋 裕二郎
37	特定非営利活動法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	理事長	上好 温
38	株式会社 橋本建設	代表取締役会長	渡邊 始枝
39	株式会社ア・マ・ファソン(オーベルジュ ア・マ・ファソン)	社長	小幡 洋二
40	株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	総支配人	伊藤 靖兼
41	有限会社吉武建設	代表取締役	吉武 勝広
42	特定非営利活動法人くじゅうネイチャーガイドクラブ	代表	増田 啓次

協議会規約第11条

事務局	九重町役場 商工観光・自然環境課	
事務局長	九重の自然を守る会	事務局長 小山 正記
主任事務局員	長者原ビジターセンター	センター長 種村 英大
事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員 村松 優子
事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員 鳥越 遥
事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員 山下 由貴子
事務局員	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループリーダー 竹尾 孝一
事務局員	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループ主任 日隈 慶子

●くじゅう地区管理運営協議会 賛助会員

朝日台レストハウス	社長	中西 克忠
九州電力八丁原発電所	所長	西田 真二
九州林産株式会社 林業部	部長	松尾 正信
福岡県中学校体育連盟	部長	横尾 卓彦
福岡県高等学校体育連盟	専門委員長	濱田 晃

(議案第4号)

くじゅう地区管理運営協議会規約改正(案)について

くじゅう地区管理運営協議会規約

(名称)

第1条 本会は、くじゅう地区管理運営協議会(以下「協議会」という)と称する。
但、通称名称を「くじゅうファンクラブ」を使用する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所を大分県玖珠郡九重町大字後野上 九重町役場 内に置く。

(目的)

第3条 協議会は、長者原ビジターセンター等施設の維持管理並びにくじゅう山群における自然環境保全活動及び利用者への適正な指導を行いくじゅう地区の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 長者原ビジターセンター等施設の管理運営
- (2) くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動
- (3) 公園利用者への情報提供
- (4) 登山道等の保全・維持管理作業
- (5) 公園利用者への適正な指導
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(構成)

第5条 協議会は、次の者をもって構成する正会員とする。

環境省・大分森林管理署・大分西部森林管理署・大分県・九重町・竹田市・飯田高原観光協会・筋湯温泉観光協会・釜ノ口温泉観光協会・久住高原観光協会・長者原地区及びくじゅう山群に関係する個人又は団体

(賛助会員)

第6条 協議会の目的に賛同する者を幹事会又は役員会に諮り別途定める規程により賛助会員とすることができる。

(役員)

第7条 協議会に、次の役員を置く。

会長	1名
副会長	1名
理事	若干名
監事	2名

- 2 会長は九重町長とし、副会長、理事及び監事は、構成員の中から互選により決定する。
- 3 役員任期は、2年とし再任を妨げない。

(役員職務)

第8条 協議会役員は、それぞれ次の事務を所掌する。

- (1) 会長は、協議会を代表し会務を掌理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は会長の職務を代行する。
- (3) 理事は、会務を執行する。
- (4) 監事は、会務及び会計を監査する。

(幹事)

- 第9条 協議会の運営に関する業務を処理するため幹事を置く。
2 幹事は、構成員の中から幹事会又は役員会に諮り会長が委嘱する。

(顧問)

- 第10条 協議会に顧問を置くことができる。
2 顧問は、役員会に諮り会長が委嘱する。

(事務局)

- 第11条 協議会の運営を円滑に行うため事務局を置く。
2 事務局長は、幹事会又は役員会に諮り会長が委嘱する。

(職員)

- 第12条 本会の業務を遂行するため、職員を置く。
2 職員は会長が任命する。
3 職員は有給とすることができる。

(会議)

- 第13条 協議会の会議は、総会・役員会・幹事会とし会長が招集する。
2 総会は、毎年1回開催し会長が議長を務め予算・決算・事業計画・規約改正その他必要事項を決定する。
3 役員会は、必要に応じて開催する。
4 幹事会は、随時開催し会の活動企画立案を審議する。

(会計)

- 第14条 協議会の経費は、次のものをもって充てる。
(1)会費、負担金及び助成金
(2)寄付金
(3)その他の収入

(資産の管理)

- 第15条 協議会資産は、会長が管理し、その方法は役員会の議決による。

(会計年度)

- 第16条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(雑則)

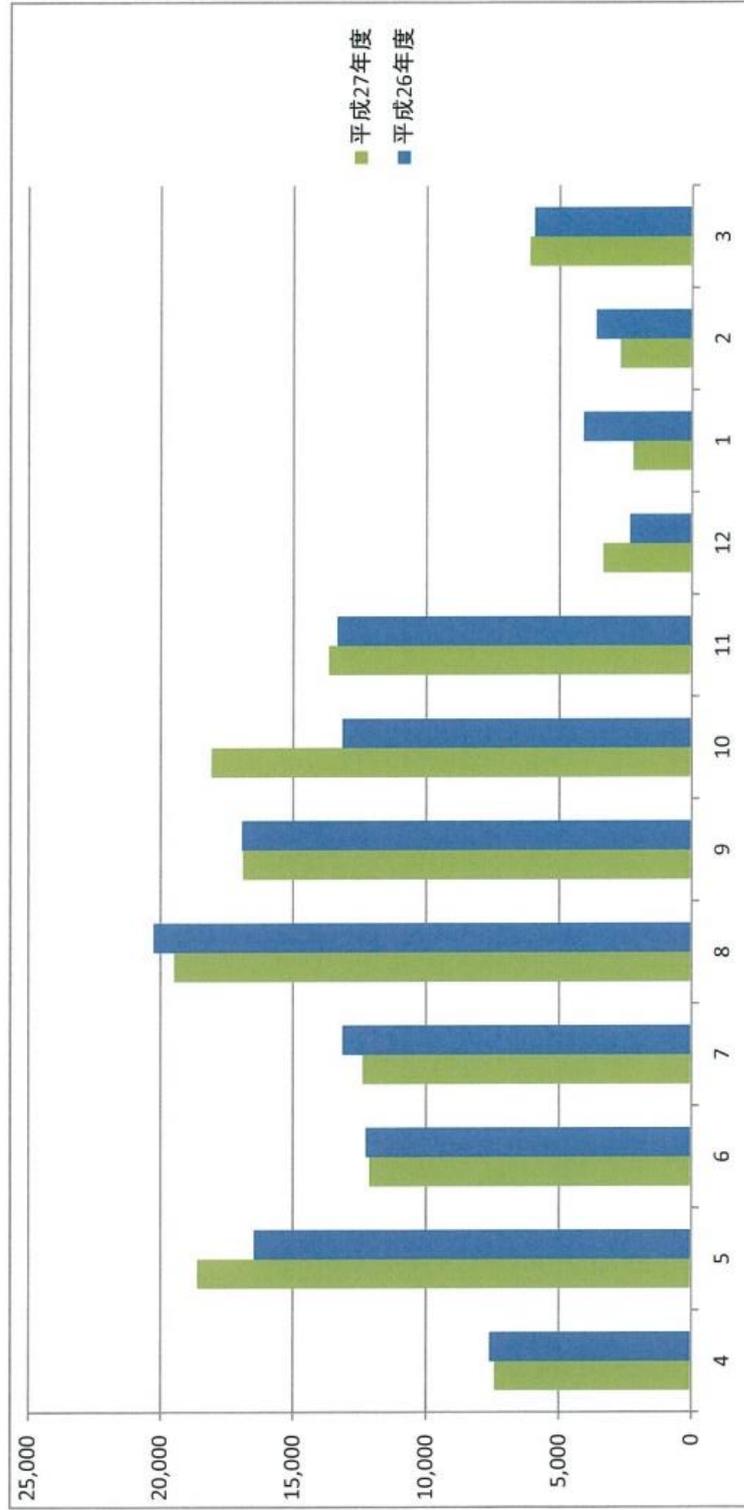
- 第17条 本規約に定めるものほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

(附則)

- 第18条 本規約は、昭和58年8月1日から施行する。
改正、平成16年5月21日
改正 平成17年6月 3日
改正 平成18年5月30日
改正 平成22年6月 1日
改正 平成28年5月31日

入館者数 累計比較

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
平成27年度	7,416	18,599	12,133	12,397	19,477	16,893	18,086	13,672	3,355	2,227	2,692	6,122	133,069
平成26年度	7,605	16,461	12,274	13,160	20,256	16,928	13,162	13,357	2,337	4,092	3,623	5,953	129,208



長者原VC累計入館者数

周年	年目		入館者数	備考
	1	平成 9年度	15,814	7/18に新VC開館。数値は7月～3月末までの集計値。年度計は22,312人。
1	2	平成10年度	43,446	
2	3	平成11年度	42,160	
3	4	平成12年度	32,590	
4	5	平成13年度	32,077	
5	6	平成14年度	27,869	
6	7	平成15年度	31,190	
7	8	平成16年度	33,560	
8	9	平成17年度	32,614	
9	10	平成18年度	37,693	
10	11	平成19年度	33,508	
11	12	平成20年度	33,340	
12	13	平成21年度	74,597	入館者カウンター設置
13	14	平成22年度	78,756	
14	15	平成23年度	96,703	当年度より休館日なし、開館時間9時に。職員3名体制で管理運営開始。
15	16	平成24年度	114,377	
16	17	平成25年度	123,755	
17	18	平成26年度	129,208	バリューアップ事業開始。3/28展示改修リニューアルオープン
18	19	平成27年度	133,069	年度の初めから4人体制
		累計入館者数	1,146,326	(人)

※平成21年3月に入館者カウンター設置。それまでは、来館者記帳による集計値。